

発行：(社) 福島県臨床衛生検査技師会

〒960-1247 福島市光が丘 1 番地

発行責任者：比佐 哲夫

編集委員長 金子 隆子

福島県立医科大学附属病院検査部

TEL. 024-548-4290

第 37 回福島医学検査学会日程決定

第 37 回福島医学検査学会ご案内

学会長 小林 正一

寒気の候、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「平成 17 年度 (社) 福島県臨床衛生検査技師会総会」並びに「第 37 回福島医学検査学会」は相双支部担当で平成 17 年 5 月 22 日 (日)、相馬野馬追いの里でもある小高町で、小高町の別名、「紅梅山浮舟城」にちなんで名づけられた<浮舟文化会館>に於いて開催することになりました。担当支部を代表して謹んでご案内申し上げます。



今回は同年東北医学検査学会も控えており、財政困難且つ社会情勢を鑑みたうえで、情報交換会 (懇親会) なしの日曜日一日で総会、一般演題、公開講演を同施設で開催したいと考えております。尚、前日の宿泊につきましては、ご希望がございましたらお受けしたいと考えております。つきましては、会員の皆様方にはなにかとご不便をおかけいたしますが、情勢・状況をご理解のうえ多数のご参加をお願い申し上げます。

同日の市民公開講演は、講師に医学博士の関川弘雄先生 (新潟大学医学部大学院医歯学総合研究科 国際感染医学講座 免疫学医動物学分野 助教授) をお招きし「グルメと寄生虫病—臨床検査で注意すべき症例を中心に—」をテーマにご講演を賜る予定となっております。

会員、一般市民の皆様方には、興味深い有意義なひと

時をお過ごししていただけるものと期待しております。最後になにかとご多忙の折り恐縮ではございますが、会員皆様方の多数のご参加を支部会員一同心よりお待ちしております。

第 37 回福島医学検査学会演題申込要領

【演題申込締切】

①予備登録 平成 16 年 12 月 15 日 (水) ~平成 17 年 1 月 17 日 (月) 必着 (支部事務局経由)

②抄録原稿 平成 17 年 2 月 16 日 (水) 必着 (直接学会事務局)

【届出先】第 37 回福島医学検査学会事務局

鹿島厚生病院 検査科

〒979-2442 相馬郡鹿島町横手字川原 2

TEL 0244-46-4478 FAX0244-46-4870

【申込票の送付】

申込票は所定の演題申込票 (各支部事務局に送付いたします) を必ず使用してください。

*予備登録票・申込受理票 (各事項を記入して下さい)・・・各支部事務局経由で

*抄録原稿申込・原稿受理票 (各事項を記入して下さい)・・・抄録原稿と一緒に直接学会事務局へ

【発表要領】

発表時間：発表時間 7 分 質疑応答 3 分 計 10 分以内です。時間厳守をお願いいたします。

発表方法：Power Point発表のみとさせていただきます。(Windowsでお願い致します)

○ 発表の Power Point ファイルが Power Point2000 であることを確認してください。

○ 本人または共同演者が操作してください。

○ CD-R 又はフロッピー (どちらも Windows フォーマット) を 4 月 28 日 (木) 着で学会事務局へお送りください。

○ ご自分のパソコンを持参する方は到着後速やかに接続などの確認を済ませておいてください。また、演題間の準備時間がございませんので、前演題の発表中に立ち上げを完了させてください。

検査のお仕事

集団検診・検査に携わる検査技師として

財団法人福島県保健衛生協会いわき地区センター
高倉 澄江



私の仕事は、学校、住民、事業所などの集団検診に関わる検査の仕事です。学生の頃は、漠然と病院の検査室で検査をする自分の姿を思い描いていたものですが、現実はかなり違うものとなりました。

さて、事業所検診の一部を紹介すると検診会場に行く為、前日用意した尿検査資材、視力計、採血資材、聴力計、眼底の機械、心電図用資材など、検診バスやワゴン車に乗せ、医師、看護師、放射線技師、検査技師等色々な職種スタッフが一同となって検診に向かいます。

会場に到着後、資材をセットし、スタッフとミーティング「正確・迅速・奉仕」をモットーに検診が始まります。私も心電図検査を開始し、受診者が入ってくると名前確認とともに、一人ひとり素早く正確に波形をとり、次の検査へと誘導します。もたもたしていると、次々人が溜まって狭いバスが一段と狭くなり、受診者に迷惑がかかってしまいます。殆どの受診者が検診後仕事に行くので、スムーズな流れの繰り返しですが、検診にはとても大切な事なのです。すべての検査が終わると素早く片付けをし、次の会場へ！！“疾風のように現れて疾風のように去って行く”そんな言葉が浮かびます。

事務所内にいる時は、他の検診会場から戻った検体検査や仕分け、蟻虫検査、保菌検査、事務の仕事、翌日の準備と忙しく働いています。

様々な年代の方を対象に色々な場所で検診検査を27年続けていますが、これからも人とのふれあいを大切に、受診者が気持ちよく検診を受けられるよう頑張りたいと思います。

総務部長就任あいさつ



福島県立医科大学附属病院
平木 宏幸

この度の平成16年度総会において常務理事に推薦、承認され、総務部長・事務局長を担当することになりました。前任の高橋清明事務局長より引き継いで4ヵ月が過ぎましたが、その間

にも会員の皆様にご迷惑をおかけしたりして、あらためて責任の重大さを痛感しております。

事務局には毎日のように文書や電子メールが届き、問い合わせの電話が来たりしています。すぐに処理し皆様のごところに情報を伝えようと努めているのですが、なかなかすぐにはいかないのが現状です。平成17年度には福島市において第46回東北医学検査学会が開催されます。この学会においてもインターネットでの演題や抄録の登録が予定されております。今やインターネットや電子メールなくしては学会参加も儼然としない時代になりつつあります。今後は電子メールや福島県技師会ホームページをさらに活用し、皆様にご有益な情報を迅速にお届けし、円滑な会務遂行に努めていきたいと思っております。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

学術部長就任あいさつ

公立岩瀬病院

先崎 薫



この度、学術部担当のご指名を受け光栄に思うと同時に、前学術部長より引継ぎをうけて、その内容を知るに従い、ますますその重要性和責任を感じております。

今年度の診療報酬改定でも判断料・管理加算は評価され、検査実施料は前回の改定に引き続き厳しく、検査業務の存続をかける改革の必要性を考えなければならない時期と考えられます。前年から組織体制の整備充実、各会員の皆様への啓蒙活動に取り組み、学術部活動の柱の一つである分野別活動、精度管理事業の体制の充実を図るべき新しい部門長、分野長、副分野長も決定し、各研修会企画内容の充実、さらに他の分野（医師、看護師、放射線技師）との共催を図り臨床検査にとらわれない発想の転換をしていきたいと考えます。表に掲載しました各分野との連携をとり、そしてすばらしい担当役員の方々のご尽力により魅力ある研修会・講習会を企画していきたいと思っております、何れの行事も参加者あつてこそです。

今回交代期にあたりましたので不慣れな点があり会員の皆様にご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、引き続きご協力ご指導くださいますようお願い致します。

尚、お気づきの点がございましたら遠慮なくメールやお電話等でご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。



福島県臨床衛生検査技師会検査研

究

部門長/分野長/副分野長



名簿

平成16・17年度

| 学術担当 | | 先崎 薫 | | 公立岩瀬病院 |
|---------|------|--------------------|----------|--------------------|
| 部門 | 部門長 | 分野 | 分野長・副分野長 | 施設名 |
| 生化学検査 | 大貫文子 | | | いわき市立総合磐城共立病院 |
| | | 臨床化学検査 | 和智光宏 | 塙厚生病院 |
| | | | 増子建志 | (財)太田総合病院附属太田熱海病院 |
| | | 免疫検査 | 平野常邦 | 福島県立南会津病院 |
| | | | 佐藤由起子 | 福島県立会津総合病院 |
| 生理機能検査 | 山寺幸雄 | | | (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 |
| | | 神経・機能検査 | 石川英昭 | 福島県立医科大学附属病院 |
| | | | 佐久間信子 | 福島県立医科大学附属病院 |
| | | 画像検査 | 風間由美 | (財)太田総合病院附属太田熱海病院 |
| | | | 高久田美江 | (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 |
| 形態検査 | 田中京子 | | | 福島県立医科大学附属病院 |
| | | 細胞検査 | 森 菊夫 | いわき市立総合磐城共立病院 |
| | | | 加藤 淳 | 会津中央病院 |
| | | 病理検査 | 柳沼礼子 | (財)総合南東北病院 |
| | | | 根本 浩 | 坪井病院 |
| | | 一般検査 | 加井丈治 | 公立藤田総合病院 |
| | | | 佐藤由峰 | 福島赤十字病院 |
| 血液検査 | 松長昌子 | (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 | | |
| | | 村田光子 | 双葉厚生病院 | |
| 感染・免疫検査 | 安田広康 | | | 福島県立医科大学附属病院 |
| | | 微生物検査 | 富沢真澄 | いわき市立総合磐城共立病院 |
| | | | 三村悦子 | 公立岩瀬病院 |
| | | 移植・輸血検査 | 渡辺隆幸 | (財)太田総合病院附属太田西ノ内病院 |
| | | | 相原敦子 | 公立藤田総合病院 |
| 検査総管理 | 増子知之 | | | 寿泉堂総合病院 |
| | | 検査管理運営 | 柴田昭浩 | かしま病院 |
| | | | 馬籠英之 | 小名浜生協病院 |
| | | 情報管理 | 橋本修也 | 有隣病院 |
| | | | 國井 敏 | 福島県立総合衛生学院 |

福島県移植・輸血検査分野研修会に参加して

いわき市立総合磐城共立病院

中央検査室

鈴木 久仁子

去る8月29日(日)、福島県立医科大学において福島県移植・輸血検査分野研修会が開催され参加してきました。研修会は午前と午後の部に分けられ、午前の部は、「血



液型・抗体スクリーニング」と「抗体解離試験と同定」の実習があり、

各施設1~2名程度と限定された人数での実習でしたが、講師を勤めてくれた委員の方も丁寧に指導してくださり密度の濃い実習になりました。午後は、星総合病院の佐久間志津枝さんによる「抗体解離試験の意義と抗体同定における消去法」、福島医大の安田広康さんによる「赤血球型検査ガイドライン」についての講義をうけました。

手法による血球洗浄等は、日常の輸血業務ではあまり手がけていず多少心配でしたが、抗体解離試験では考えられる抗体が同定できたので安心しました。講義の「抗体同定における消去法」については、とてもわかりやすく説明をしていただき非常に勉強になりました。今後、複合抗体の見逃し等ないようにさらに注意深く、アンチグラムと“にらめっこ”しながら抗体同定をしようと思います。そして、「赤血球型検査ガイドライン」の講義は、日頃疑問に思っていた事やこれでいいのだろうか?と不安に感じていた事が納得でき、又、少しずつ改善していかなければと思うところも見つけれとても参考になりました。

3年前、輸血検査への配属を聞かされたとき、「えー、私が?」と驚きの言葉を口にしてしまいました。そして実際に輸血の仕事をはじめると少しずつ輸血業務の重要性を理解してくると、増々不安になってくるのと同時に、より安全な輸血ができるように考え仕事に望まなければいけないと思うようになりました。そんな私にとって今回の様な研修会はとても勉強になりました。まだまだ学ばべき事がたくさんある私です。これからも、基礎をしっかり身に付けて毎日の仕事に取り組んでいきたいと思っています。最後に、私の家には小さい子供が3人...それでも私の仕事を理解し協力してくれる家族がいるから、こうして研修会にも参加することができました。感謝しています。

第46回東北医学検査学会 開催要綱 (案)

テーマ : 「変化への挑戦」
—さらなる医療貢献をめざして—
会期 : 平成17年10月15日(土)、16日(日)
会場 : コラッセふくしま
〒960-8053 福島市三河南町1番20号
TEL 024-525-4089 FAX 024-525-4036
学会長 : 比佐 哲夫
(社) 福島県臨床衛生検査技師会 会長)
副学会長 : 岡田 護
実行委員長 : 山端 陸夫
事務局長 : 大花 昇
学会事務局 : 〒960-0195
福島県福島市鎌田字中江33番地
大原総合病院附属大原医療センタ
ー臨床検査部内

第46回東北医学検査学会事務局
TEL 024(554)2278 FAX

024(554)6879

ランチョンセミナー : 弁当代 500円

機器・試薬展示 : コラッセふくしま3階企画展示室
第1日 10月15日(土) 9:30~16:30
第2日 10月16日(日) 9:30~11:00

関連行事

- 東北臨床衛生検査技師会代表者会議・東北地区連絡協議会
日時: 平成17年10月14日(金) 14:00~18:00
会場: 福島ビューホテル
- 学会記念式典
日時: 平成17年10月15日(土) 17:00~17:50
会場: 福島ビューホテル
- 情報交換会
日時: 平成17年10月15日(土) 18:00~20:00
会場: 福島ビューホテル
〒960-8068 福島市太田町13-73
TEL 024(531)1111 FAX 024(534)1303

教育講演

『演題未定』
講師 福島県立医科大学医学部臨床検査医学講座教授
(検査部長)
吉田 浩 先生

公開講演

『演題未定』
講師 福島大学教育学部教授
白石 豊 先生

レクチャー (5部門)

- 1 『真空採血』3題
- 2 『院内感染—感染情報—』3題
- 3 『基準値共有化』3題
- 4 『超音波検査』2題

5 『医療効率—検査室改善—』3題

ランチョンセミナー (6会場)

演題予備登録締め切り (予定) 平成17年6月3日

抄録原稿登録締め切り (予定) 平成17年7月22日

学会日程

平成17年10月15日(土) 9:00 受付開始

一般演題 9:00~11:30 (6会場)

ランチョンセミナー 12:00~13:00 (6会場)

レクチャー 13:20~14:50 (5会場)

教育講演 15:00~16:30

学会記念式典 17:00~17:50

情報交換会 18:00~20:00

平成17年10月16日(日) 9:00 受付開始

一般演題 9:00~10:30 (6会場)

公開講演 10:40~12:20

平成16年度 第1回ホームページ委員会開催

去る12月11日(土) 10:00~福島県立医科大学検査部技師室にて開催されました。出席者は運営委員長橋本修也、副運営委員長國井敏、事務局長平木広幸、学術部長先崎薫、広報部長金子隆子が出席、活発な意見が交わされました。平成13年11月の福島県臨床衛生検査技師会のホームページオープン以来、アクセス数は3年間で2万5千を越えました。話し合いの結果、デザインを刷新し、見やすく工夫をする、研修会案内の掲載方法、施設紹介は会誌に載せられものを、同意を得て編集し



なおして掲載する、学術関連は情報が一番速く集まる学術部長が担当するなどが決まりました。

会員の皆様、福島県臨床衛生検査技師会ホームページにアクセスしてみてください。

編集後記

院内では職員による聖歌隊の練習が始まりました。平成16年も後わずか、早いものです。今年は病院機能評価受審があり、資料づくりに追われ、エコー編集が遅れてしまいました。おかげで来年の福島医学検査学会、東北医学検査学会のご案内をすることができました。どちらも、活発な学会になるよう会員みなさんで一人ひとりが役目がけましょう。(た)